









【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

【1 研究目的、研究方法など（つづき）】

## 2 応募者の研究遂行能力

これまでの研究活動（主要な研究業績を含む）について、研究計画に関連した「独立した研究者」としての研究活動を中心に研究計画の実行可能性を2頁以内で記述すること。なお、研究計画に関連した国際的な取組（国際共同研究の実施歴や海外機関での研究歴等）がある場合には、必要に応じてその内容を含めること。研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

(\PapersInstructions をコメントアウトしてください。)

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

**※留意事項：**

1. 研究業績（論文、著書、産業財産権、招待講演等）は、網羅的に記載するのではなく、本研究計画の実行可能性を説明する上で、その根拠となる文献等の主要なものを適宜記載すること。
2. 研究業績の記述に当たっては、当該研究業績を同定するに十分な情報を記載すること。  
(例として、学術論文の場合は論文名、著者名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年（西暦）、著書の場合はその書誌情報など。)
3. 論文は、既に掲載されているもの又は掲載が確定しているものに限って記載すること。

なお、令和2(2020)年度公募より「ポストドクター」、令和7(2025)年度公募より「海外特別研究員」という身分であっても本種目の趣旨に合致する場合には応募可能としたことに伴い、本欄には、**海外の研究機関等において「独立した研究者」として研究活動を行っていることがわかる内容**を含め記載すること。

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

応募者は過去20年間、7つの海を隅から隅まで航海し、浅瀬から深海まで潜り、文字通り東西南北上下の3次元でシロナガスクジラの卵の探索を行ってきた(業績1)。シロナガスクジラに飲み込まれそうになったり、海賊に捕まるなどの危険な目にもあったが、それにもめげず、研究を遂行してきた強靱な能力を有する。

シロナガスクジラの卵を探すために用いていたソナーと双眼鏡、及びシロナガスクジラの卵を引き上げるために用意していた大きな網は、そのまま使える。

1. “Search for whale eggs”, H. Yukawa *et al.*, *Rev. Oceanic Mysteries* **888**, 99 (2017).
2. “Theory of Elephant Eggs”, H. Yukawa, Kara Juzo *et al.*, *Phys. Rev. Lett.* **800**, 800-804 (2005).
3. “仔象は死んだ”, Kobo Abe, *安部公房全集* **26**, 100-200 (2004).
4. “The Elephant’s Child (象の鼻はなぜ長い)”, R. Kipling, *Nature* **999**, 777-799 (2003).
5. “You can’t Lay an Egg If You’re an Elephant”, F. Ehrlich, *JofUR* ([www.universalrejection.org](http://www.universalrejection.org)) **N/A**, 2002 ( ).
6. “Egg of Elephant-Bird”, A. Cooper, *Nature*, **409**, 704-707 (2001).
7. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, *The Shining* (1980).
8. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, *The Shining* (1980).

【2 応募者の研究遂行能力（つづき）】

9. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
10. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
11. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
12. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
13. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
14. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
15. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
16. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
17. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
18. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
19. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
20. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
21. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
22. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
23. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
24. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
25. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
26. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
27. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
28. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
29. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).
30. Jack Torrance, “All work and no play makes Jack a dull boy”, The Shining (1980).

### 3 人権の保護及び法令等の遵守への対応（公募要領参照）

本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を、1頁以内で記述すること。

個人情報に伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となる。

該当しない場合には、その旨記述すること。

象の卵の ES 細胞の培養、象のクローンの生成などは行わない。

L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X の便利な機能については、`egg_***.tex` や `sample_pdf/egg_***.pdf` をご覧ください。

【令和7(2025)年度 国際共同研究加速基金（帰国発展研究）研究者調書】

研究者	(ふりがな) 氏名	(ゆかわ ひでき) 湯川秀樹	生年月日	(西暦) 1900年 2月 29日
	所属研究機関 ・部局・職	NASA, Senior Researcher		
	学位	理学博士	現在の専門	原始殻実験
	外国機関の所属年数（日本の研究機関との兼務除く）			70年

(職歴)

- 1947 NASA (Nature And Science Ardentness) Research Associate
- 1957 NASA Junior Researcher
- 1997 NASA Senior Researcher

(現在の所属・職において独立して行っている研究活動状況及び海外における研究歴)

(\kikokuInstructions をコメントアウトしてください。)

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

※留意事項

海外の研究機関におけるこれまでの特筆すべき研究活動及びその成果等について記入すること。特に、海外の研究機関において、応募者が自らの責任で自由に使用できる研究費を獲得している場合には、主な獲得実績（資金制度・研究費名、研究期間、研究課題名、期間全体の研究経費の額等）について必ず記入すること。

○本留意事項の内容を十分に確認し、研究計画調書の作成時にはこのテキストボックスごと削除すること○

これまでは、シロナガスクジラの卵を探索してきたが、見つけれなかった。